



UDトラックスのお客様向け広報誌

UD NEWS

vol.05
2025

Owner's Interview

Quon 大型冷凍車の稼働で 東北6県の鮮度輸送を担う。

カクシメ運送株式会社様(山形県天童市)



UD UD TRUCKS

撮影地:山形県山形市 唐松観音(多目的広場駐車場)

UDトラックスのお客様向け広報誌

UD NEWS

vol.05
2025

〔山形県 天童市〕

歴史とロマンが息づく盤上遊戯

将棋と 生きるまち・天童

将棋の駒作りにおいて、
全国シェア日本一を誇る山形県天童市。
人を駒に見立てた人間将棋など
将棋文化を盛り上げる
様々なイベントを通して天童市が発信する
将棋の魅力について紐解いていきます。

山形地域営業部
カスタマーアドバイザーの
小林がご案内します！

天童
特集号

UD UD TRUCKS



UDトラックス
創立90周年に向けた
お客様からのメッセージ



当社は1956年の創業当初から、冷凍・冷蔵食品の運送業務を数多く手掛けて参りました。大切な食品を取り扱うため、迅速な対応は常に心掛けています。また、その食品を運ぶ大型冷凍車は繊細な温度管理を必要とし、他のトラックと比較しても特殊な架装が施され、輸送の際は常に注意しなければなりません。これまでの長い経験があるからこそ、きめ細かで丁寧なサービスが可能だと自負しております。

そしてその温度管理車を提案し提供してもらえるのが、UDトラックスです。前任の社長でもある私の祖母や祖父の時代から、トラックと言えばUDトラックス。他社メーカーの購入はほとんどなく、私が大学卒業後に入社した頃も、ほぼUD一色でした。当社に残っている古いアルバムを見ても、赤白の丸い「UDマーク」を付けた歴代のトラックが活躍しており、何十年來のお付き合いがあるのだと、ただただ感無量の想いです。創立90周年、本当におめでとうございます。時代が求める信頼性のある製品を提供していただければ、当社はこれからも購入し続けます。車両メンテナンスも含めて、お願いすることはたくさんありますが、未永くより良いお付き合いができればと願っています。

全般は小林さんからアドバイスをいただきました。

小林 國井社長からは、いち早く車両のことを学びたい、仕様や架装に関して詳しく知りたいと、当時は、多くの質問をいただいております。おこがましいのですが、私はいわば先生のような存在になり、車両に関する知識をお伝えさせていただきました。今日は重要な項目を3つお話しに参りました。といったように、お忙しい社長に都度ポイントを絞ってお伝えしていた記憶があります。ご自分なりの経験値をゼロから作り上げていくことに、やりがいと楽しさを見つけていられた姿が印象的でした。私が直感したのは、社長は必ず会社経営をうまく成功させるだろうというところ。熱意があり心のなかに燃え尽きたものが見えました。私も、その熱意に負けないよう、真摯にお伝えしてきました。

整備契約UDTRUSTで日々の安心・安定稼働を実現

小林 御社はUDTRUST（トラス）にご契約いただいておりますが、そのメリット



2024年10月に納車した、Quonの冷凍パン。外壁にはアルミコルゲートパネルを使用し高い断熱性能や、庫内にはジョロダレーを配したハイスベックな仕様を施している。必要かつ充分な機能を装備した即戦力の温度管理車として、ビジネスをサポート。輸送に大きな進化をもたらす。

を含めたご意見などをお聞かせください。

國井 当社は安定した仕事量をいただけるお客様が多いので、基本的には月々の収益がいきなり跳ね上がることはありません。ですので、保有している車両の不具合などで修理代金を高額に請求されると、正直、困る部分はありました。しかし、車両のメンテナンスに欠かせない整備項目をバツ

「カクシメ運送はUDトラックスが提案する温度管理車で、物流品質をさらに向上させます」

—— 國井 代表取締役

企業成長の成果に伴走しUDトラックスが全面サポート

小林 最後になりますが、現状で抱えられている御社の経営課題や、これからの会社



カクシメ運送株式会社:天童市を中心とした山形県の地元企業と共に成長・発展し、2026年には創業70周年を迎える。輸送品目は冷凍食品を中心に、自動車関連部品、油脂などの運送・物流業務を行っている。東北6県の地域活性化や、お客様から頼られるパートナーとして、信頼ある輸送体制で地域社会に貢献している。
代表取締役:國井杏輔氏 / 山形県天童市久野本810-2

ケージ化し、最適なタイミングで点検を実施してくれる整備契約UDTRUSTなら、車両管理の費用面でも見通しが立つため、圧倒的な安心感があります。定期的に訪れる整備点検や車検対応のメンテナンスを確実に実施してもらえるので、車両を常に最良の状態に保つとともにライフサイクルコストの低減にもつながっています。

小林 前任の社長様から、整備代がもっと安くなる方法はないだろうかというご相談を受け、ご提案したのが最初のきっかけです。國井社長の代になつてからも、引き続き整備契約を組んでいたことになります。私がカクシメ運送様のご担当になり10年。合計29台を納車させていただきました。したが、内、新車17台に関してはすべてUDTRUSTの契約を結んでいます。高品質な純正整備によるプロの確かな技術力で、日々の安全・安心・安定的な稼働をサポートさせていただいております。



納期通りに、目的地までデリケートな冷凍食品を正確・安全に運送。高い運転技術と運転意識が求められるカクシメ運送ドライバーの面々。荷室にうまく冷気を循環させるためには、積荷にある程度のスペースを設けることを必要とし、そのために優しく丁寧な温度管理が日々求められている。

長の柱などについてもお聞かせください。

國井 そうですね。仕事を多く獲得してドライバーも増やし会社を急に拡大しようという考えではなく、地に足の着いた経営を目指しています。数字的には、私が入社した7年前より現在の方が仕事量自体は減っているのですが、ドライバー数も変わらず、売上げも2割から3割は伸びています。2024年問題の対応で、ドライバーの労働時間は減っていますが、給与の水準は減ってはいません。運賃交渉などの努力を重ねるなど、いかに効率的な運営と健全経営を実施するかを目指しています。今と同じ規模感で会社経営を続けていくために、人材不足で悩まないようにするというのが、今後の経営者としての一番の課題だと思っています。

小林 そうした経営の環として、UD車両を計画的に導入していただき誠にありがとうございます。またUDトラックスの創立90周年に際しても励みになるお言葉を賜り、重ねて御礼申し上げます。加えて、来年創業70年目を迎えるカクシメ運送様のビジネスのさらなるご成功とご発展に向けて、新型車両などのご提案やお役に立っている情報をいち早くご用意し、経営課題解決のお手伝いができましたら幸いです。國井社長、本日は誠にありがとうございました。



Quon 大型冷凍車の稼働で東北6県の鮮度輸送を担う。

カクシメ運送株式会社
代表取締役
國井 杏輔 氏
Kunii Kyosuke

UDトラックス株式会社
山形地域営業部
カスタマーアドバイザー
小林 伸
Kobayashi Shin



山形県 形県の天童市に本社を置き、東北6県のみならず、関東・関西へも冷凍・冷蔵食品の輸送を行っている、カクシメ運送株式会社様。信頼ある鮮度輸送で地域経済の活性化を担い、日々業務に取り組んでいらっしゃいます。今回、UD車両との深い関わりについて、当社の小林が國井社長にお伺いしました。

知識ゼロのなかで模索した事業継承の悩みと将来の期待

小林 社長就任時は、大変なご苦労や悩みを抱えられたと伺っております。事業継承のタイミングや風通しの良い職場環境はどのように行われたのでしょうか。

國井 私が大学を卒業して当社に入社したのが23歳。社長になったのが2021年、26歳の時でした。引き継ぎがまったくゼロの状態からの就任です。社会人経験も無い新米がいきなり経営のトップになったこともあり、まずは社員のドライバーたちの様々な意見を聞き入れることからスタートしました。なるべく給与体系や労働環境を変えずにやってさえいけば、ある程度は会社として成り立つ目算はありました。ただ時代も刻々と変化するので、大事な部分は変わらないようにしつつも、周囲の環境に合わせて毎年何かしら変えていかなくてはならないとは思いましたね。またトラックの仕様や架装などは何も分からなかったため、車両



カスタマーアドバイザー(CA)の小林、カクシメ運送様のご担当になって10年目に入る。温度管理車という特殊車両の販売に携わり、発注時の打合せには常に架装メーカーと同行し、UDトラックスが窓口になりカクシメ運送様の要望を一括管理。よりスムーズな納車体制を心掛けている。



2021年に4代目の社長に就任した國井社長は、現在30歳の若き経営者。今の労働環境を維持しながらも、常に効率的な会社経営を模索し、細かい部分での改善を毎年積み重ねている。経営課題の柱としては、もっと働きやすい運送会社を目指し、ドライバーの人員不足にならないように対策を練ること。

搭載、冷却はサブエンジン式、外装は部分補修が可能で整備性の高いアルミコルゲートパネルを使用。庫内はカクシメ運送様の輸送スタイルに合わせ、ご要望を細部にまで叶えたこだわりの仕様になっています。

経営者のお困りごとを解決！

運送業界の経営・財務 Q & A (Vol.20)

中小運送会社が直面する様々な経営課題について、運送業コンサルタント小山雅敬氏がお答えします。

Q 新しく成立した「トラック新法」とは、どのような法律ですか？

A 「トラック新法」の概要と運送業への影響をお伝えします。

トラック事業適正化関連法(いわゆる「トラック新法」)が2025年6月4日に成立し、6月11日に公布されました。この法律の主なポイントは以下のとおりです。

トラック新法のポイント

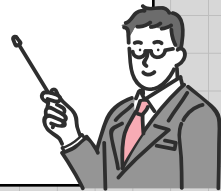
- | | |
|--|---|
| ア 再委託を2次請けまでに制限する努力義務を課す | エ 国土交通大臣が新たに「適正原価」を定め、適正原価を下回る運賃・料金を禁止（これに伴い、従前の「標準的な運賃」は廃止） |
| イ 白トラ等の無許可業者への委託を罰則付きで禁止（違反した場合は100万円以下の罰金） | オ ドライバーの能力等に応じた適正な賃金支払い、適切な処遇の確保を義務化 |
| ウ 一般貨物自動車運送事業の5年ごとの許可更新制を導入 | |
- ※ **アイ** は公布後1年以内に施行、**ウエオ** は3年以内に施行の予定

この法律は運送業界の長年の課題(多重下請構造、低運賃等)を是正し、健全で持続可能な物流を構築するために大変革を行うもので、特に運送業許可の5年更新制の導入は中小運送業に多大な影響を与えます。施行日に向けて現状を再点検し、着実に準備を進めましょう。

許可更新制の導入に向けて確認すべき主な事項

- 過去の行政処分や適正化指導の指摘に対して是正措置がなされ、継続しているか
- 事業実績報告書や事業概況報告書は毎年正確に記載し、提出しているか
- 労働時間や改善基準告示等の法令がきちんと守られているか
- 社会保険未納や健康診断未受診等はないか。最低賃金や割増賃金の違反はないか
- 賃上げや休日・休暇増加などの処遇改善を行っているか
- 債務超過になっていないか、毎年赤字が続いていないか

なお、今からGマークや働きやすい職場認証等の取得を進めて、会社の健全性を客観的に証明することや、業務のデジタル化を推進することは有効な対策といえます。



回答者プロフィール: 株式会社コヤマ経営 代表取締役 小山雅敬 / 大阪大学卒、運送業を中心に30年間に多数の経営相談、講演を実施。中小企業診断士、日本物流学会正会員。

UD Information

ニュース

UDトラックスが亀田製菓グループ運用のダブル連結トラックを納車



2025年6月、亀田製菓株式会社様とグループの商品輸送を担う新潟輸送株式会社様が運用を開始された、ダブル連結トラック(フルトレーラー)の車両を、UDトラックスが納車いたしました。6月12日には、そのお披露目となる運行出発式が執り行われ、関係者が出席しダブル連結トラックの本格運行に先駆け、安全祈願が行われました。

新潟県での導入は、本件が初めての事例。今後、亀田製菓グループ様では一部の輸送をダブル連結トラックに切り替え、新潟市内の工場から埼玉県所沢市の拠点までを週に3回往復運行する予定で、これにより従来の10分の1ほどの荷物がダブル連結トラックで運ばれることになります。

●商主: 亀田製菓株式会社様 ●輸送会社: 新潟輸送株式会社様 ●トレーラー: 日本トレクス株式会社様 ●導入協力: NEXT Logistics Japan 株式会社様



ダブル連結トラックは、大型トラック2台分を1台で輸送できるため、ドライバー1人で運べる物量が約2倍となり、ドライバーの労働力不足の解消につながります。また、同じ重量の輸送をする場合において、通常時の大型車両に比べて約40%のCO2排出量削減効果が見込まれるため、大気汚染などの環境負荷低減に貢献します。

ドライバーの労働力不足、環境負荷の低減、物流の効率化は、いずれも現代の輸送業界において、大きな課題となっています。ダブル連結トラックは、それらの課題を解決するソリューションとして、社会から大きく注目と期待を集めています。運転技術の問題や運行可能な道路インフラの制約などのハードルもありいち早い対策が望まれますが、今後もUDトラックスは持続可能な物流の実現を目指し、価値ある車両の提供に向けた取り組みを進めてまいります。

UDNEWS 2025年 第5号(通巻25号) 発行所: UDトラックス株式会社
〒362-8523 埼玉県上尾市大字菅丁目一番地
udtrucks.co.jp

発行日: 2025年9月1日発行 本誌からの無断転載・複製を禁じます。

UDNEWSは隔月1日発行です。

本誌についてのお問い合わせは
UDNEWS編集室
03(6427)1553(10:00~17:00 土・日・祝を除く)
dn@wais.biz



UD TRUCKS

学卒業後は、結婚式場で10年間ウェディングプランナーをしていました。それまでと異なる業界を知りたいという気持ちから、ご縁がありUDトラックスに入社。カスタマーアドバイザー(CA)になり、20年が経ちます。仕事をする上で思うのは、経営者の皆様は実に聡明で、成功を収められた方が多いということ。営業の立場を通して貴重な商談の機会を頂戴し、目をかけていただけることは、私の人生の誇りでもあると思っています。この仕事に就いてから、自己成長ができたという実感も大きくあります。結婚式場勤めの時は、お客様は初めて挙式するカップルがほとんどで、私は新郎新婦に対して教えるという立場でした。今は、課題とともに向き合うことで、より深くお客様の人生に寄り添っていける職業だと思います。そうした実感が、ただ単に車両を売るというだけではなく、一台一台心を込めて提案し使ってもらい喜んでいただきたいという私のポリシーに繋がっています。そして何年もお購入していただくお客様と一緒に育っていくという姿勢が、私自身の営業スタイルにもなっています。

人生経験の積み重ねで
お客様に向き合った
営業提案をして参ります。

山形地域営業部 カスタマーアドバイザー
小林 伸 Kobayashi Shin

Private life

毎週末の休日は、自宅の庭でバラの園芸を楽しんでいます。今は11種類を栽培。好きなバラは、写真のピエール・ド・ロンサール。豪華な大輪のカップ咲きで、幾重にも重なる花弁と中心にピンクがのる優雅な色調がとても上品。愛でるほどに心が癒やされますね。

FOCUS ON

わたしたちがお客様を支える
アドバイザーです

Vol.25 山形地域営業部
天童カスタマーセンター 編

メ カニックで入社して5年。その後はカスタマーサービスフロント(CSR)で15年。現在はサービスアドバイザー(SA)に就いて、5年になります。SAの業務は、車両の使用状況に合わせた整備計画のご提案や、車両性能を最大限に引き出す操作方法のアドバイスなど、安心稼働につながるサポートが主な役目です。私の場合は、メカニック時代で身につけた知識や整備士資格を活かせる一方、自身の接客や対応がUDブランドのイメージに直結します。プレッシャーもありますが、やりがいも感じています。最近私が特にお薦めしているのが、UD-TRUST(トラスト)です。車両メンテナンスに欠かせない整備項目をパッケージ化し、計画的に純正整備を行う整備契約です。車両修理の費用面でも見通しが立ち、圧倒的な安心感があります。不具合が起こってから緊急修理ではなく、予防整備を含めた先回りの点検としても推奨しています。そして何より、アフターサービスまで含めた領域を担当するSAだからこそ、お客様との長期的な信頼関係を深め、日々の安心稼働を見守り続けます。



Private life

小学生から高校生までずっと野球を続けていました。今はソフトボールの同好チームに所属。身長が高いこともありポジションは一塁手です。ほかにも、娘が部活でソフトテニスをやっているの、その観戦を楽しんでいます。スポーツ三昧の我が家です。

UD-TRUSTの推奨で お客様のビジネスを支え 日々の安心稼働を促します。

天童カスタマーセンター サービスアドバイザー
工藤 健太 Kudou Kenta

天童カスタマーセンターのWebサイトはこちらから
<https://www.udtrucks.com/japan/dealer/tendo>





歴史とロマンが息づく盤上遊戯

将棋と生きるまち・天童

山形県天童市は、将棋の駒作り生産量が日本一のまち。また、人を駒に見立てた人間将棋など、将棋の魅力を伝える様々なイベントも開催されていて、県外や海外からも多くの観光客が足を運んでいます。まちを歩けば、いたるところに将棋駒の形が見え、まち全体が将棋文化一色の天童市。どのように将棋文化が根づいていったのか、その歴史と魅力を紐解きます。

まちの至る所に
将棋駒のモチーフが
見られます！

山形地域営業部
カスタマーアドバイザー
小林 伸



1

世界中で遊ばれる盤上遊戯 将棋のルーツはインドにあり

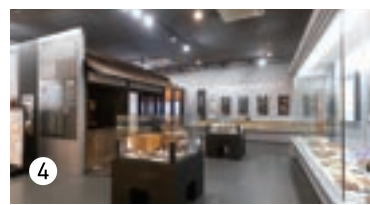
まず、将棋とはどのような歴史を経て生まれたゲームなのかを知るため、天童駅にある天童市将棋資料館の高橋さんにお話を伺いました。「将棋は突然作られたものではなく、盤上遊戯の長い歴史を経て誕生したものです。もともと、祭具や占いの道具で合ったものが次第に遊戯化し、ゲームとなったと考えられていますが、古代において盤上遊戯が楽しまれていたことは、古くエジプト、メソポタミア、インド、ギリシャなど、どの文明の遺跡からも、遺された壁画などからうかがい知ることができます。西洋ではチェスが有名ですが、将棋に近いゲームは確かに世界中に存在します。その中でも、将棋のルーツと言えるのはどういったものだったのでしょうか。『紀元前300年前のインドでは、将棋の原形と考えられるチャトランガという遊戯が楽しまれていました。このころは、サイコロを用いて4人で楽しむものでしたが、偶然性が強いものであったため、時代を経るにつれてサイコロを使用しない2人制の将棋に変わっていきまし。日本に伝わった時期は明確ではありませんが、遺跡の出土品などから、11世紀の平安時代には貴族社会の間で遊ばれていたことがわかっています。将棋は長いあいだ、中国から朝鮮を通じて日本へ伝来したものと考えられてきたそう。しかし、中国の象棋しょうぎと日本の将棋を比較した際に、中国象棋がそのまま伝わり発達したとは考えにくい部分が多くみられるとのこと。そのため、最近の研究では中国から伝わる以前に、東南アジアから海上の交通路を経て日本に入り、その後、中国象棋や朝鮮将棋の影響を受けて、日本独自の発展を遂げたと考えられているそうです。天童市将棋資料館では、それらルーツになったと考えられる様々な国の将棋の展示があり、目を惹きます。



2



3



4



5



6

①天童駅前の将棋駒モニュメントは、市政施行65周年を記念して2024年に設置されたもの。羽生善治氏が文字を揮毫している。②天童では、まちの至る所に将棋駒のモチーフが見られる。郵便ポストも将棋駒の形をしている。③天童駅の駅舎内にある、天童市将棋資料館。④館内には将棋駒をはじめ、将棋の歴史に関する資料が多く展示されており、ファンならずとも必見の内容。⑤現在の日本の将棋のルーツと考えられている、インド発祥のチャトランガ。⑥チャトランガをはじめ、世界各国の盤上遊戯が展示されている。



一つひとつに魂を込めて
形づくっていく



中島清吉商店
〒994-0046
山形県天童市田鶴町2-2
023-653-2262
<https://www.shogi-koma.com/>
営業時間 9:00～18:00
定休日 毎月第2日曜日・1月1日・2日



1



2



3



4



5

①将棋駒の製造工程の様子。写真は丸太で仕入れた原木を輪切りにしたものを、さらに半分にし乾燥させたもの。これを木地と呼び、この状態から薄く切り出していく。②専用の治具を用いて、五角形の将棋駒の形に成型していく。0.1ミリ単位で、狂いの無いように切り出す。③彫りの工程。駒の種類によって、掘り出し方もさまざま。1セットができるまで、約15日ほどを要する。④店舗内では、木の種類ごとのサンプルも展示されている。⑤中島清吉商店・店主の中島正晴さん。「将棋は今後、海外からも注目を集めると嬉しいですね」と語ってくれた。

天童全体が盛り上がる ダイナミックな人間将棋

まち全体が将棋一色の天童において、ひとときわ注目を集める催しが、春の天童桜まつりで行われる人間将棋です。天童市観光物産協会の阿部洋さんにお話を伺いました。「毎年4月の中旬に開催される人間将棋は、1956年に始まった歴史の長いイベントです。名前の通り人が甲冑に身を包んだ駒となり、ゲストのプロ棋士の指し手に従って巨大な盤上を動きます。桜が咲き乱れる舞鶴山山頂での対局は迫力満点で、県内外の将棋ファンを含め海外からも注目をいただき、約12万人前後の方に訪れていただける一大イベントです。迫力満点の対局は、将棋に詳しくない方でも見るだけで楽しんでいってもらえると、阿部さんは語ってくれました。ぜひ天童にお越しの際は、まち全体で発信する将棋文化に触れて、その歴史のロマンと魅力を感じてみてください。



1



2



3

将棋の魅力に
ぜひ一度
触れてください！



①天童市・舞鶴山で毎年春に開催される天竺桜まつりのなか、恒例となっている人間将棋の様子。約2,000本の桜が咲き乱れる舞鶴山の山頂を舞台に、甲冑や着物姿に身を包んだ武者や腰元が駒となって、プロ棋士の指示に従い特大の将棋盤上を動いていく。県外はもとより、国外からも注目を集める天童市の一大イベント。②天童市将棋資料館では、人間将棋の様子を表現した人形の展示や、過去の対局のVTRも放映されている。③天童市観光物産協会の阿部洋さん。